

事例名			
ICT 活用によって、総合的な探究の時間のグループワークを円滑にする			
校種・学年	高等学校・1,2 学年		
教科・科目・単元・題材	総合的な探究の時間		
学校名〈任意〉	京都府立木津高等学校	事例報告者氏名〈任意〉	東 晃司、山中 健太
機能名 (アプリ名)	Microsoft Teams、Microsoft Office PowerPoint、Metamoji Classroom、AI(主に ChatGPT)		
ICT 活用のポイント			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ICT を目的とするのではなく、学習上の目標を達成するための手段として ICT を活用する。</li> <li>・ 学習用の ICT アプリ (Metamoji Classroom) だけでなく、卒業後も社会で使うことが想定される Microsoft Office のアプリも活用し、情報機器の活用能力も身につけさせる。</li> <li>・ 生徒の成果物の共有および、共同編集、チャット機能等でのコミュニケーションを行う。</li> <li>・ 学習用の ICT アプリ (Metamoji Classroom) では、グループ活動が円滑に進むことを目的とし、活用する。</li> <li>・ AI は図表の生成や調べ学習等の場面で、特に使うよう指示したのではなく、既に生徒が活用している。</li> </ul>			
活用場面			
<p>(1) Microsoft Teams (グループ探究の内容を生徒・教師につなぐ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ グループ探究を行う上での担当教員から生徒への指示や、生徒からの質問等のやりとり</li> <li>・ 発表資料などの制作物やアンケート結果の共有、共同編集</li> </ul> <p>(2) Microsoft Forms (効率的なアンケートを行う)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全校生徒・保護者へのアンケートの実施</li> <li>・ Excel 等を活用した分析</li> </ul> <p>(3) Microsoft Office PowerPoint (探究の表現ツール)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ プレゼンテーションの資料作成</li> <li>・ ポスター発表の際のポスター制作</li> </ul> <p>(4) Metamoji Classroom (アイデアの置き場所)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ グループワークのモードによって、思考したことをまとめながら書き込む</li> <li>・ 調べて分かったことをメモし、今後の見通しを書きこむ</li> </ul> <p>(5) AI(主に ChatGPT)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ポスター等の図表の生成</li> <li>・ アイデア出しや、調べ学習</li> </ul>			
授業者のコメント・児童生徒の主な反応等			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒は ICT 活用 (AI の活用を含む) に慣れているため、円滑に活用できている。</li> <li>・ Microsoft Office アプリの活用や Metamoji Classroom の活用によって、休日に家にいながら共同で編集ができたり、情報の共有が可能になったりした。</li> <li>・ Microsoft Office については、アカウントが生徒卒業後、再利用することを想定しているため、生徒名が教員で確認できない、Canva などを活用したい時にメールアドレスとして登録できないなど、学校や教育委員会が制度を整備する必要がある点も感じられる。</li> </ul>			